

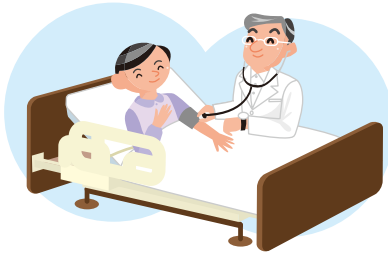
# 市民の願い前進

## 2012年 9月議会

消費税増税、原発再稼働やオスプレイ配備、TPP問題など国の悪政の中で、予算が市民のくらしに役立つものになっていないかという視点で、決算審査に臨みました。また一般質問では、5名全員が計20項目の質問をおこない、市政の問題点をただし、くらし・福祉の充実を訴えました。

### 子ども医療費の窓口無料化 入院は中学3年生まで拡大

日本共産党が保護者の皆さんと共に強く求めてきた子どもの医療費無料化について、これまでの後払い方式だった小4～小6の子ども通院医療費が、今年の12月1日より窓口無料化に（一回200円の自己負担あり）。入院については県の助成拡大で、中学3年生までの窓口無料化となります。引き続き、入院とも中学3年生までの完全無料化を目指して、粘り強く取り組みます。



### 『水際作戦』をやめ、申請希望者には速やかに生活保護の手続きを

生活保護の手続きについて、「相談でふるいかけ、申請までたどり付けない」という問題があるが、まず申請を受けて、その後相談という順序が保護法の趣旨ではないかと指摘。「失業者や低賃金者が生活保護を断られるケースが多い。申請希望者に對しては、きちんと対応し、直ちに受理をするように」と強く求めました。



たかぎ けん  
高木 健  
都市整備常任委員

その他の質問項目  
●松戸地域職業訓練事業の充実を  
●利用の少ない公共施設の有効活用を  
●公営住宅の整備充実・老朽化対策を  
●緑地保全ボランティア支援の拡充を

### 新京成は、上本郷駅無人化やめよ！

無人化への本市の対応をただしたのに対して、市は「新京成と協議し、無人化に関連した事故などの報告を求め、説明会の開催を要請した。市民の安全については一切妥協せず一貫して取り組む」と答弁。「無人化はやめてほしい」と寄せられた女子高生の声を紹介し、「公共交通機関は利益より安全こそ優先すべき」と訴えました。



やまぐち まさこ  
山口 正子  
健康福祉常任委員

その他の質問項目  
●介護サービスの時間短縮による、利用者・事業者への悪影響は  
●公立保育所の増設で待機児童の解消を  
●子どもの医療費窓口無料化の拡大を

### 市立病院の千駄堀地区への移転決定

千駄堀に市立病院を移転するための周辺整備等に係る補正予算が、賛成多数（賛成37反対3退席者3）で可決・成立しました。  
また補正予算案提出の冒頭に、本郷谷市長から「結果としてマネーフレスト通りに実現することができなかった。市民、市議会関係者にお詫びしたい」と謝罪がありました。

計画の工期（51カ月）で十分なのかなど、不確定要素が残されていますが、新病院建設が遅れることによる大地震発生などの懸念が大きいことから、1日も早い新病院の建設を願い、補正予算に賛成しました。

### 看護師配置は7対1に、国へは補助増額を

党市議団は、①600床規模の病院とし、第3次救急、小児及び周産期医療などの維持・発展。②民営化を

### 悪臭・振動・騒音対策早く！

北松戸工業団地から受ける生活環境への影響について2つの改善策を求めました。①「工業団地から東堀水路に流れ込む排水による悪臭対策を早く」の求めに対し、「年内に水路の清掃を実施する」と答弁。②「古ヶ崎3丁目を通る輸送車による振動・騒音防止策」については「住民の依頼があれば即、振動調査を行い対応する」と前向きな答弁を引き出しました。



たかはし 妙子  
高橋 たえ子  
総務財務常任委員

その他の質問項目  
●学校図書館司書の増員で子どもの読書活動の推進を  
●就学援助一要保護・準要保護の申請をしやすく  
●福祉の総合相談窓口の開設を  
●松戸市の平和事業の更なる充実を

### 梨香台保育所・東部市民センターの耐震化とエレベーター設置

この問題を質問するのは8回目。ようやく今年度に設計予算がつけました。質問では、9月中旬に事業者が決定すること、工事は約半年間で、玄関を入れて右側に11人乗りを設置することが明らかになりました。



うつの 史行  
教育経済常任委員  
広報委員長

また、保育所が休所となる1年間の児童の受け入れ先を確保すること、耐震化後も民営化せず公立を貫くことを求めました。

その他の質問項目  
●金ヶ作38番地先交差点に信号機設置を  
●指定管理者の選考・評価の透明化を  
●放射能健康診査について

### 五香西・松飛台、串崎新田地区の下水道整備促進を

①五香西地域から産業道路へのルート②串崎南・松飛台ルートの2つの幹線整備の現状と、今後の下水道整備計画について質問しました。



いとう 余一郎  
伊藤 よいちろう  
健康福祉常任委員

さくら通りの鎌ヶ谷市境まで整備する。面整備は5～6年で「行方予定」と答弁しました。

### その他の質問項目

●介護保険料を引き下げ、特養ホームの増設・拡充を  
●地域包括支援センターの増設を  
●資格証明書の発行は中止せよ  
●高すぎる国保料引き下げを

どうぞあなたのご意見・ご要望をお寄せください

裏面もご覧ください

2012年10・11月号  
日本共産党松戸市議団  
TEL 047 (366) 7403  
FAX 047 (366) 5915

まつど民報

【市政報告】

ホームページ 日本共産党松戸市議団 検索  
メールアドレス jcpmatsudo@earth.ocn.ne.jp

2011年度決算審査は、これまでと異なり各常任委員会による分科会方式で行われ、日本共産党議員団5人全員が臨みました。市民の給与所得が下がり続け、法人市民税の滞納理由の6割が経営困難となっているなど、市民生活は厳しさを増しています。このような状況で差し押さえなどを強引に進めることがないように指摘しました。

## 2011年度 決算

また、職員の削減やサービスの縮小ではなく、足りない特養ホームや公立保育所などの増設で雇用を拡充すること、住宅リフォーム助成など思い切った施策に踏み出すことを求めました。急増する児童虐待などに対応する家庭児童相談員や、国基準に100人以上不足している消防職員などの計画的な増員などを求めました。市民サービス削減の口実づくりのための事業仕分けや、民間事業者やNPO・ボランティアへの公共サービス丸投げはやめるよう指摘しました。福祉の問題では、医療費全額負担となる保険証の取り上げはやめ、市長公約の国保料の引き下げを要求。介護保険料減免の対象を、生活保護基準の1.2倍から1.5倍に拡げること、介護職員の処遇を改善することなど、安心して必要なサービスを受けられるよう強く要求しました。建築物の耐震診断・改修にかかる市民負担の軽減や、応募が平均で30倍近い高倍率になっている市営住宅の整備計画の見直しと、老朽化対策を求めました。教育関係では、小・中学校への特別支援教育支援員の大幅な増員を求め、五年間英語で小学校段階から詰め込み教育が強化されていることを指摘しました。

## 高い国保料を引き下げよ 資格証明書の発行は中止を

松戸市の国保加入者は約84,800世帯、一人当たり平均98,853円です。高すぎる国保料で25%近くが滞納という実態です。滞納者への保険証の取り上げは8月1日現在934世帯で今年4月の5.62倍に急増しています。

党市議団は、医療機関の窓口で自己負担の全額を支払われる資格証明書の交付は中止すべきだと要求しています。高い国保料を引き下げること、廃止された国保への県補助の復活と国庫補助増額を求め、ひきつづき全力を尽くします。

## 東葛一高い介護保険料の引き下げを！

保険料が4月から基準額820円の引き上げで月額4,660円となり、東葛6市の中で一番高くなりました。保険料の軽減策として、対象を生活保護基準の1.2倍から1.5倍に拡げること、及び保険料の引き下げを求めました。特養ホームは、今年8月時点で1,174床に整備されましたが、待機者は1,600人を超えています。2014年度までに338床増やして1,512床整備する計画ですが、追いつかない状況です。さらに整備を急ぐよう求めました。

東葛6市の介護保険料(基準額)と2012年7月の特養ホーム待機者数

	松戸市	柏市	流山市	野田市	我孫子市	鎌ヶ谷市
介護保険料	4,660円	4,200円	4,590円	4,092円	3,642円	4,370円
特養待機者数	1666人	1306人	578人	707人	443人	320人

## 松戸駅のバリアフリー化

「やっと計画段階に」松戸市とJR、新京成鉄道会社と協議していた松戸駅のバリアフリー化に伴う改良計画が公表されました。計画では、改札内のコンコースを広く、各ホームへのエレベーターの整備や多機能トイレなどのバリアフリー整備・新設。また、東側階段下へは、鉄道警察の交番が設置され、また、市民ギャラリーは、駅東側構内と西側階段斜面に分割しての設置などが確認されました。なお、2014年度工事が始まり、2018年度バリアフリー化完了の予定です。

## 陳情

### 「保育所の設置基準を下げないよう求めた陳情」否決される

現在、千葉県の『保育所設置指針』では保育所の最低面積を1人当たり4・95㎡としていて、埼玉県は5・0㎡と並び全国でも充実した基準となっています。ところが、12月に県が策定する『条例』案では、保育所の最低基準を0歳児で4・95㎡から3・3㎡に狭める内容となっています。保育所の設置基準の維持を求める陳情に対し党市議団は、『指針』に基づく『条例』を策定し、足りない保育所を増やすべきだ」と訴え賛成しました。しかし、民主、自民・保守、公明、みんなの党、社民すべてが反対し否決されました。

## 意見書

### 「領土問題の意見書」が全会一致 復興予算を横流しする「中小企業の成長支援」意見書に反対

日本共産党が提案した4本の意見書のうち「尖閣・竹島・北方四島の領土問題は冷静な外交努力で解決を求める」意見書が全会一致で可決されました。オスプレイ反対、原発ゼロの意見書は否決されました。(下表参照)

一方、「中小企業の成長支援策の拡充を求める」意見書については反対し、討論に立ちました。討論では「中小企業の苦しい現状への支援も必要で、成長支援だけでは不十分」「意見書が成長支援の財源としている『国内立地推進事業費補助金』は復興予算を横流ししたもの」と指摘。「復興予算は被災地へまわし、投資予算は別枠で準備を」と求めました。

## 9月市議会における各会派の態度

あなたの気持ちにぴったりの会派・議員は？

9月議会で審議された38件の予算、議案、陳情、意見書に対し、27件に賛成、11件に反対しました。

2012年9月市議会 主な審査結果一覧表 ○：賛成 ×：反対 (原案に対する態度)	会派	日本共産党				公明党				市民クラブ				松政クラブ				絆			市民力		民主社民		無所属																								
		宇津野史行	伊藤余一郎	高橋妙子	高木健	山口正子	山沢誠	渡邊美喜子	高橋伸行	伊東英一	飯箸公明	織原正幸	石川龍之	城所正美	諸角由美	矢部愛子	中川英孝	山口栄作	澁谷剛士	市川恵一	岩堀研嗣	大井知敏	深山能一	末松裕人	杉山由祥	石井勇	張替勝雄	田居照康	小林俊彦	小沢曉民	杉浦誠一	鈴木大介	川井清晶	こひら由紀	山中啓之	谷口薫	原裕二	海老原弘	二階堂剛	安藤淳子	関根ジロー	桜井秀三	大橋博	中田京					
平成23年度一般会計決算	決算	認定	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×				
損害賠償訴訟の和解について	一般議案	可決	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
病院事業会計補正予算(干渉移転関係)	一般議案	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
保育所の設置認可等の基準に関する陳情	陳情	不採択	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
尖閣・竹島・北方四島の領土問題は冷静な外交努力での解決を 共通番号制度(マイナンバー)法案の撤回を求める意見書	意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
オスプレイの沖縄配備と各地での飛行訓練に反対する意見書	意見書	否決	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
「原発ゼロ」の政治的決断を求める意見書	意見書	否決	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
中小企業の成長支援策の拡充を求める意見書	意見書	可決	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

会派名の略称 民主社民：民主・社民クラブ

/：退席、\*：議長のため採決には加わらない

〈敬称略〉

あなたのご意見をお寄せください ●●●●● 電話、FAX、メールのあて先は表面にあります。